

国際理事会報告

2009年度ICD国際理事会報告

国際理事 千田 彰

2009年度の国際理事会は、2009年（平成21年）5月22、23日の両日に亘り、インターコンチネンタル横浜グランドホテルにおいて、日本部会の主管で開催された。国際理事会は、2年に1回は、米国内でアメリカ歯科医師会総会に併せ、それ以外は各部会の主管で各々10 - 11月に行われるのが通例である。

22日午前8時、国際会長Shickが開会宣言し、副会長Seidmannが開会の祈りを捧げ、事務局長（Secretary General）が点呼を行って、議事が開始された。今理事会では、事務局長 Robert Bradyが退任することとなり、Dr. Terrell Hoffeldの後任就任について、特別審議事項として通常審議に先立ち審議した。その結果、満場一致で承認され、同氏の陪席が認められた（図1）。また同じく、新部会の承認を申請している中国とミャンマーの代表者、また理事会のホストである日本部会の齋藤 毅会長の理事会陪席が承認された。

以下、主要な審議事項および決定事項を列記する。

1. 中国部会、ミャンマー部会の創設が承認された。
（中国は、Section XIII、ミャンマーは、Section XIVとなる）ただし2年間は、Seidmann次期会長、日本部会（森山直前会長と佐藤国際理事）が指導



図1 一般の審議に先立ち、Dr. Terrell J. Hoffeldの新事務局長(Secretary General)への就任が審議・承認され、会長Dr. Richard A. Shickの紹介で、同氏が挨拶した。

して行くことが条件とされた。

2. 編集委員長HintermanがGlobe編集に協力してくれたフェローに謝辞を述べ、またCollege of Today（メール配信ニュースレター）の配信のため、各部会でメーリングリストを完備するよう依頼があった。
3. 従来、国際理事をCouncilman（またはCouncilmen）と称したが、CouncilorまたはCouncilorsと称することとなった。
4. College Growth and Develop委員会のKotchy委員長から強く推薦のある“Standard of DentistryをICDの歯科医療基準として採択する件”について、Communication委員会および臨時小委員会で継続審議する。
5. 国際理事会は、従来1日半の開催であったが、今後は、2日間とする。
6. Guyana、フランス領Guiana、SurinameはセクションIVからセクションXXのリージョンXXIIIに移す。
7. 前事務局長Robert Bradyの貢献を讃え、“Secretary General Emeritus”（名誉事務局長）の称号を贈る。
8. Master Fellow称号授与承認：Hsueh-Wan Kwan、Ing-Hsiang Lee、Chao-Chang Chen
9. 次期執行部が承認された
会長：Manfred Seidmann（South America）、次期会長：Charles L. Siroky（USA）、副会長：Gary Lunn（Canada）、財務：William R. Clithroe（USA）、編集：John V. Hinterman（USA）、事務局長：Terrell J. Hoffeld、副事務局長：Vangel R. Zissi（USA）
10. 以降の国際理事会開催地：Orlando, Florida（2010）、India（2011）、San Francisco, California（2012）、2013年は未定

以上予定された報告および審議事項について順調に審議、決議して、最後に会長のDr. Shickから次期会長Dr. Seidmann（任期：2010年1月1日から2010年12

月31日まで）へ、Gavel（木槌で、議長職あるいは会長職のシンボル）を引き渡し、引き継ぎが無事終了した（図2、3）。



図2 すべての審議を無事終え、会長Dr. Shickから次期会長Dr. SeidmannへGavel（木槌）が手渡された。



図3 11年間の事務局長職を無事務めたDr. Robert E. Bradyへ、国際理事一同から感謝の念を込めて、日本部会懇親会の席で「銀のトレイ」を会長から贈呈した。